

2023 年度 高校入試問題（社会）の解説

◎地理

【1】【2】 地理

【1】は世界地理に関する問題です。

問1 基本的な問題です。国名から場所を選ぶ問題となっています。教科書に出てくる国の場所は把握しておくといでしょう。

問2 南アフリカ共和国と人種隔離政策のキーワードから解答できる、基本的な問題です。廃止に尽力したネルソンマンデラ大統領も合わせて覚えておきましょう。

問3 アメリカ合衆国では 2020 年にヒスパニックの人口は全人口の 18.7%を占めるようになった。多民族国家のアメリカ合衆国で多くを占めている民族として覚えておきましょう。

【2】は日本地理に関する問題です。

問1 中国・四国地方の地形に関する問題です。同様の名称が鉄道や道路に使用されていることもあります。

問2 この地域で抱える問題の一つとして人口の減少があります。その中でも、工業地帯や広島市・岡山市といった政令指定都市がある瀬戸内地方には周辺地域から多くの人口が集まっている。

問3 瀬戸内地方は一年を通じて瀬戸内海式気候と呼ばれる温暖な気候となっている。夏は四国山地、冬は中国山地によって季節風がさえぎられるためです。

問4 図のようなつぼ型の人口ピラミッドは、出生率・死亡率がともに低い、少子高齢化の人口分布となっています。

◎前近代(歴史)

【3】古墳時代～奈良時代を中心とした出題。高松古墳壁画を題材とし、時代背景や藤原京や平城京に関わる歴史を理解できているかを問う問題です。

問1～問2 は基本的な設問。問3 は「藤原京＝天武天皇や持統天皇の時代」だと気付けば答えられる問題です。問4 の高松塚古墳壁画を答える設問は、教科書や資料集によく見かけるものです。問5 は「平城京＝奈良時代」と認識できていればすぐに分かります。問6 は少し迷うかもしれませんが、現行の紙幣の出題ですので、普段私たちが使っている紙幣を思い出してください。

【4】平安時代（院政期）～鎌倉時代初期の出題。武士が台頭するきっかけとなった保元の乱・平治の乱をはじめ、平清盛が政治の実権を握っていく過程について理解できているかを問う問題です。

問1～問5 までは、基本的な設問です。（ E ）と（ F ）は日宋貿易に関する事柄で、「貿易」「修築」という言葉がヒントになります。問6 は時代の流れが分かっていると難しく感じ

るかもしれません。源氏の将軍の順番が分かっていると正確に並べ変えることができないと思います。

【5】江戸時代を中心とした出題。年表を主体とした、江戸時代の主な出来事を国内と外交関係の歴史の理解度をチェックする問題です。

問1～問3と問8～問9は基本的な設問です。問4は少し迷うと思いますが、幕府が貿易を許可した国、そうでない国とをきちんと理解できていれば答えられます。問5～問7の設問は全て人物を答える設問ですが、アイヌに関わる問5が少し難しいかもしれません。

◎近現代(歴史)

【6】日清戦争後の講和条約に関する出題。史料の原文を見ながら、それに関する設問に答える問題です。

問1と問2は関連しているので、問2から推察できる講和条約です。原文の「遼東・・・」という下線部分や問4の設問もヒントになります。問3も日清戦争の講和条約と気付けば分かりますが、気付けないとやや難しい設問です。問4と問5は関連しています。三国同盟と三国協商で対立していたドイツとロシアがなぜこの時は協力関係にあったのかは、ヨーロッパで、ドイツとイギリスが対立関係にあったことやロシアの矛先が東アジア進出に向かえば、バルカン半島にドイツが進出しやすくなるという背景から理解できます。その辺りを踏まえて解答を選んでください。また、この設問は消去法でも正答を導くことができます。問6は基本的な設問です。

◎公民

【7】基本的な事項を中心にあらゆる分野から基礎的なことを確認しました。

問7の表を読み取る問題では、読み取るだけでなく、地理的な知識も必要となりました。

同様に表を読み取る問題である問9では、正確な読み取りが必要です。

問11では時事的な問題を取り上げました。しっかりとニュースに目を通していれば得点できたでしょう。